

那珂川市役所 都市整備部 下水道課

管渠工事（開削）標準構造図

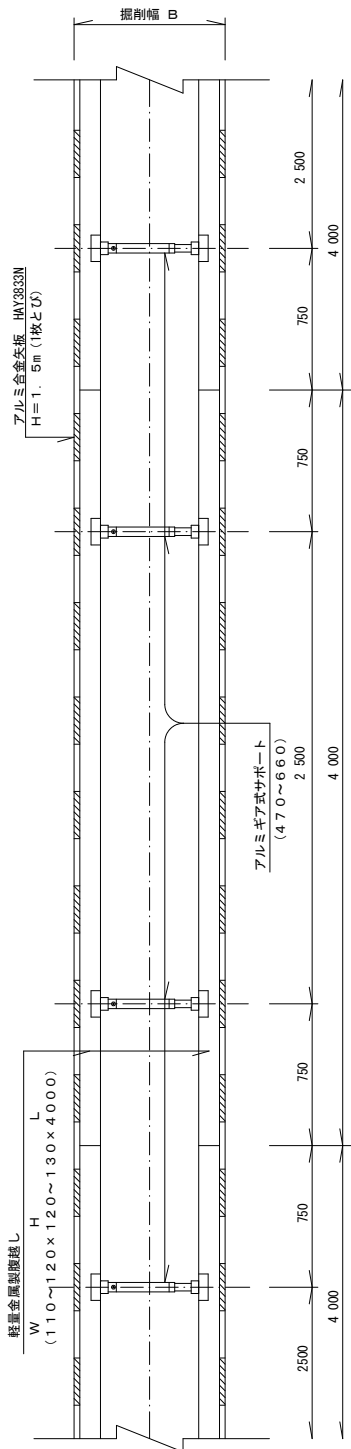
令和 6 年 4 月

土留支保工標準図

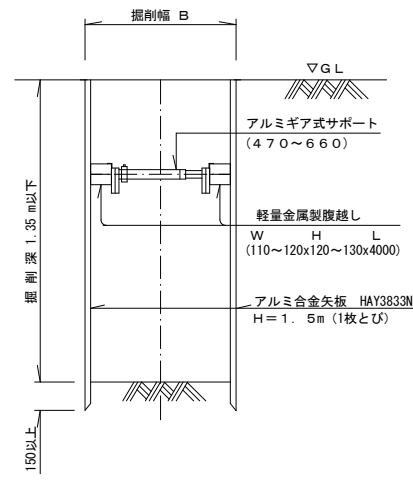
S = 1 : 20

掘削深 1.35m 以下
(アルミ合金矢板)

平面図

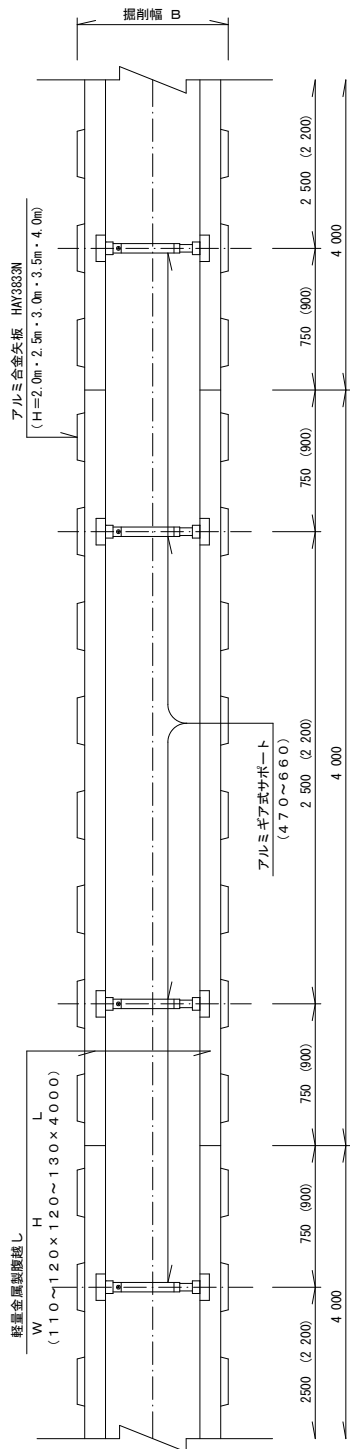


断面図

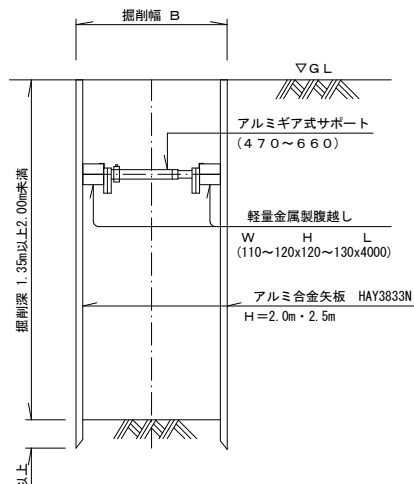


掘削深 1.35m 以上 ~ 3.85m 未満
(アルミ合金矢板)

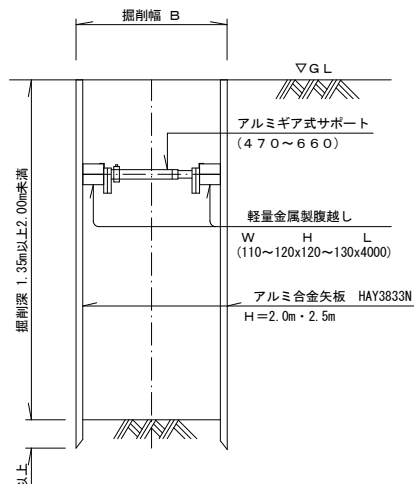
平面図



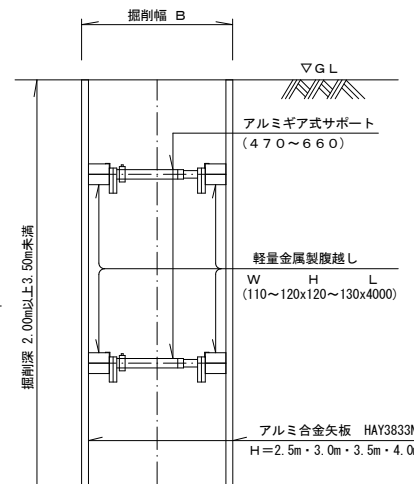
断面図



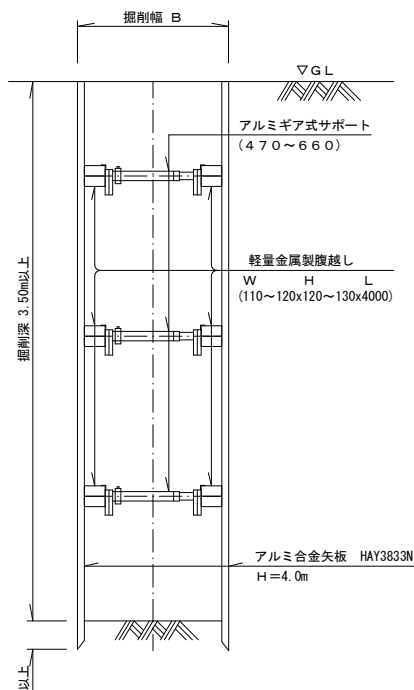
掘削深 1.35m 以上 2.00m 未満



掘削深 2.00m 以上 3.50m 未満

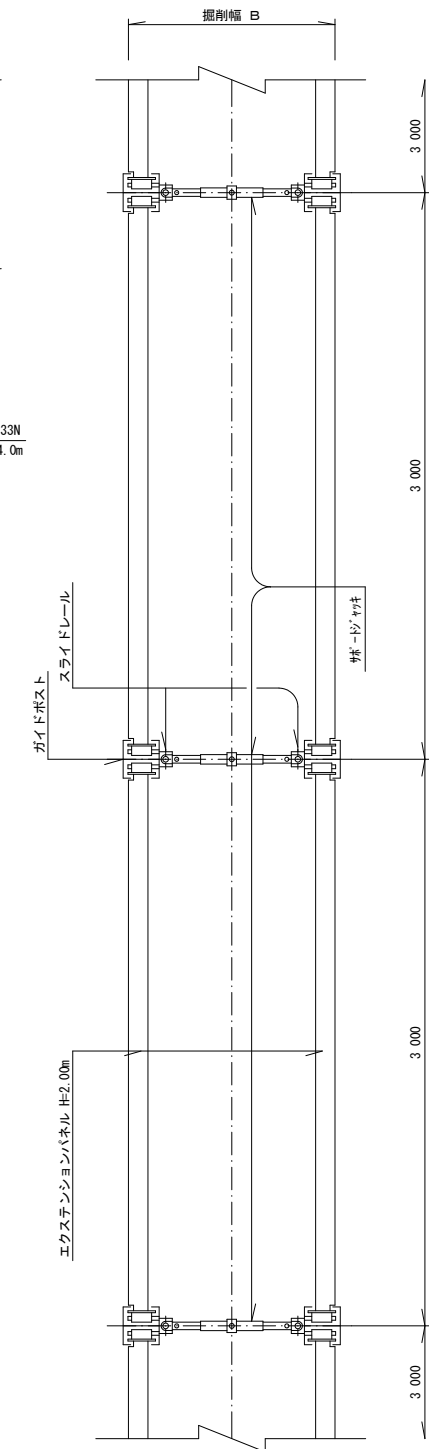


掘削深 3.50m 以上 3.85m 未満

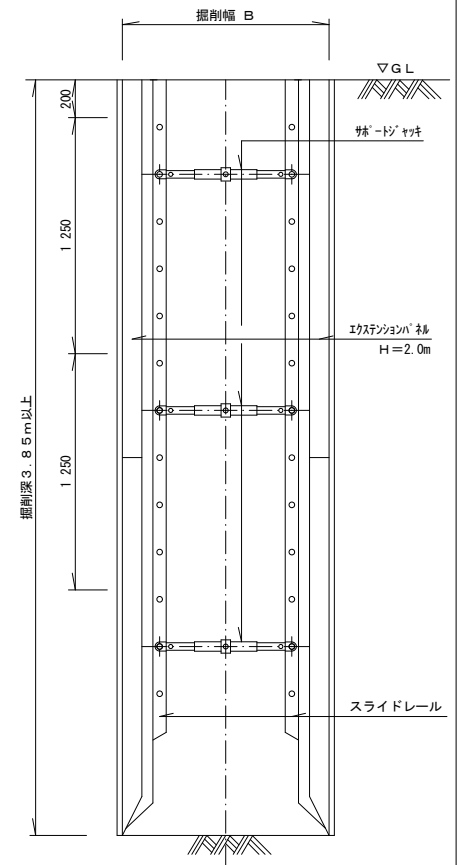


掘削深 3.85m 以上
(建込み簡易土留)

平面図



断面図



※ (内) は、掘削深 3.00m 以上の場合とする。

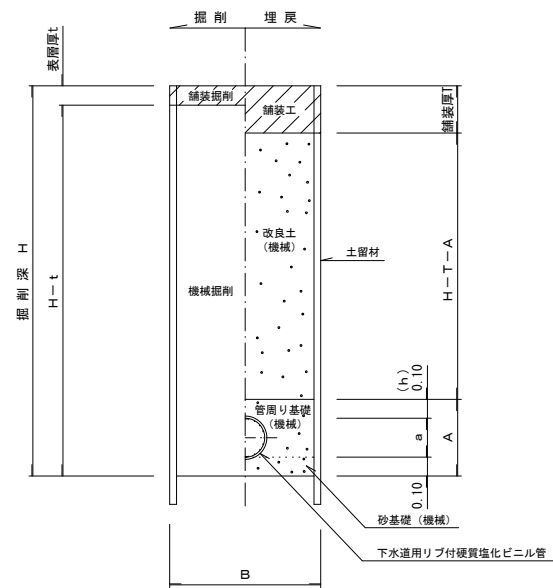
管布設工標準図

S=1:20

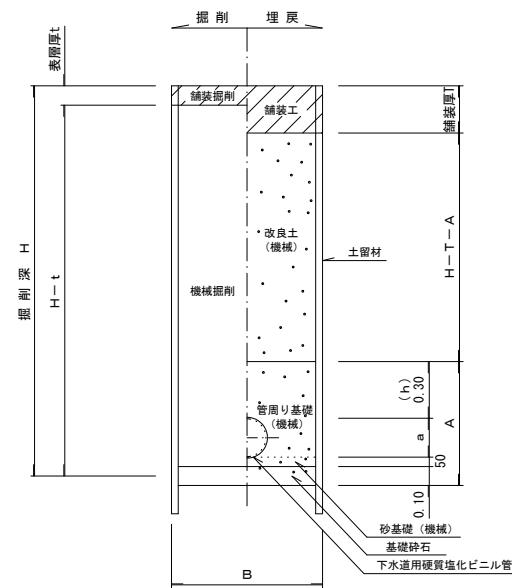
本管部

取付管部

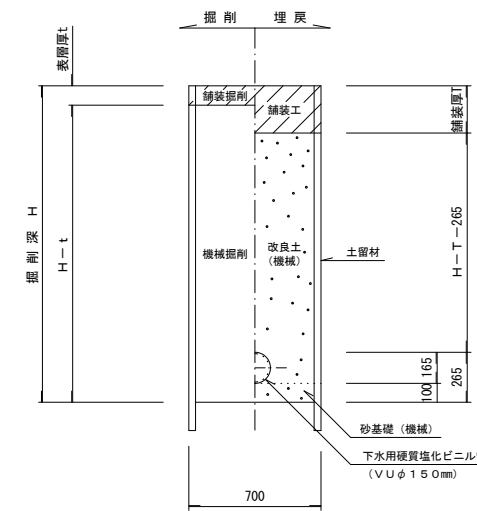
リブ付き硬質塩化ビニル管



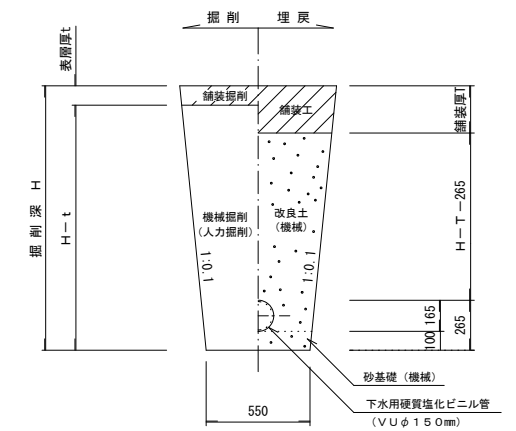
硬質塩化ビニル管



H ≥ 1.5 m



H < 1.5 m



リブ付き硬質塩化ビニル管【アルミ矢板 建込み】

(単位: m)

項目	管径・管種	PRPφ150	PRPφ200	PRPφ250	PRPφ300	備考
掘削幅	幅(B)	(1.05) 0.75	(1.05) 0.80	(1.05) 0.85	(1.05) 0.90	
管外径	(a)	0.156	0.206	0.256	0.306	
管防護高	(A)	0.356	0.406	0.456	0.506	
基礎砕石	RC-40 厚さ	(0.10)				湧水がある場合に使用する。
砂基礎	厚さ	0.10				標準土質の場合とする。
管周り管頂高	矢板設置時 高さ(h)	(0.188) 0.119	(0.200) 0.120	(0.213) 0.121	(0.225) 0.122	アルミ矢板 t=38mmとする。
	矢板引抜後 高さ	0.10				
改良土	転圧あり 厚さ	H-T-0.356	H-T-0.406	H-T-0.456	H-T-0.506	管保護を目的とする。
舗装工	RM-25 厚さ	T				
舗装掘削厚	仮復旧 厚さ	t				粗粒度F12V
掘削高	機械掘削 高さ	H-t				H=掘削深

※ (内) は、建込み簡易土留工法(H=4.00m)の場合とする。

硬質塩化ビニル管【アルミ矢板 建込み】

(単位: m)

項目	管径・管種	VUφ150	VUφ200	VUφ250	VUφ300	備考
掘削幅	幅(B)	(1.05) 0.75	(1.05) 0.80	(1.05) 0.80	(1.05) 0.85	
管外径	(a)	0.165	0.216	0.267	0.318	
管防護高	(A)	0.615	0.666	0.717	0.768	
基礎砕石	RC-40 厚さ	0.10				
砂基礎	厚さ	0.05				
管周り管頂高	矢板設置時 高さ(h)	(0.452) 0.333	(0.465) 0.333	(0.477) 0.336	(0.490) 0.336	アルミ矢板 t=38mmとする。
	矢板引抜後 高さ	0.30				
改良土	転圧あり 厚さ	H-T-0.615	H-T-0.666	H-T-0.717	H-T-0.768	管保護を目的とする。
舗装工	RM-25 厚さ	T				
舗装掘削厚	仮復旧 厚さ	t				粗粒度F12V
掘削高	機械掘削 高さ	H-t				H=掘削深

※ (内) は、建込み簡易土留工法(H=4.00m)の場合とする。

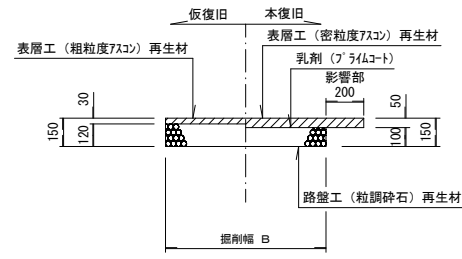
路面復旧図

S = 1 : 20

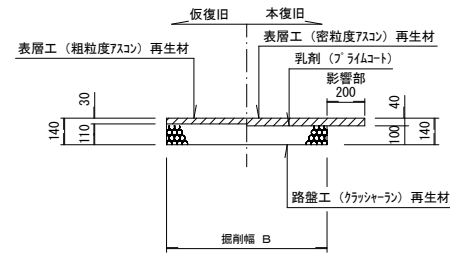
那珂川市道 (旧県道)

国・県道

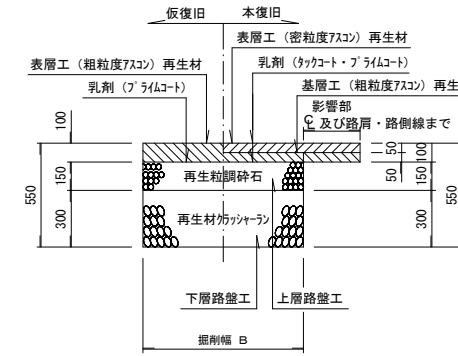
車道部



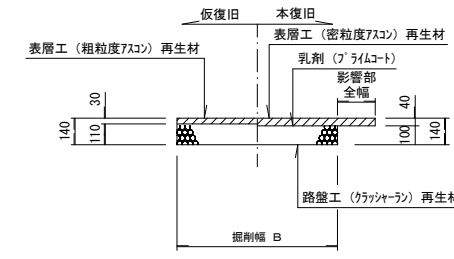
歩道部



車道部



歩道部



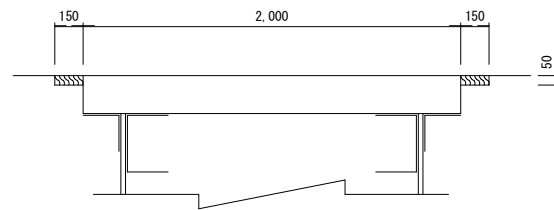
※復旧に関しては道路管理者に確認すること。

路面覆工図

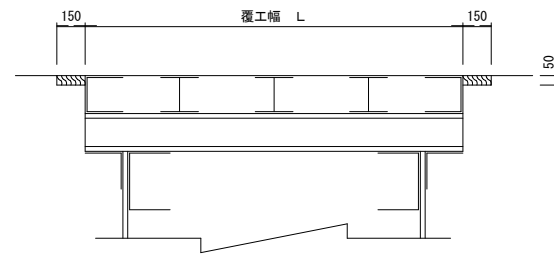
S = 1 : 20

断面図

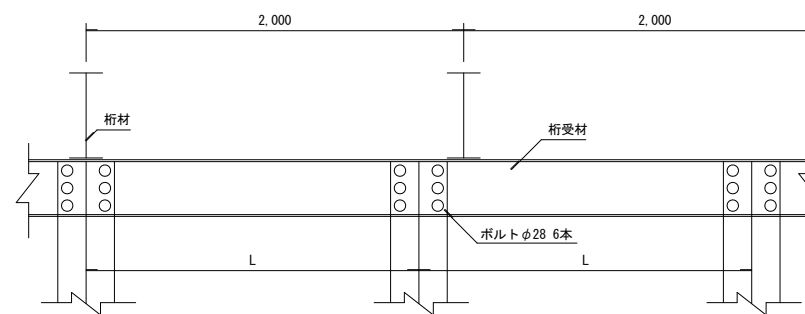
W=2.00m



W=2.50~6.00m



側面図



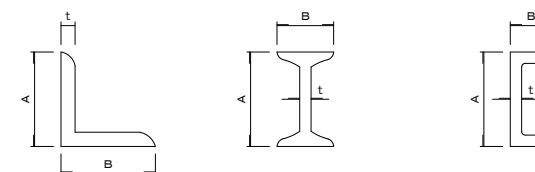
※ 受桁と受材取り付け標準

(10m当り)

覆工材料表

種目	覆工板 (枚)	桁材 2.00m C・to・C (kg)	桁受け材 (kg)	その他 鋼材 (kg)	粗粒アスコン (kg)	雑材料
2.00	2,000 × 1,000 10	L-125 × 90 × 10 C-200 × 80 × 75 814	-	-	380	
2.50	2,000 × 750 10 2,000 × 1,000 5	1-200 × 150 × 9 630	L-125 × 90 × 10 C-200 × 80 × 75 814	144	380	
3.00	2,000 × 1,000 15	1-250 × 125 × 10 830	L-150 × 90 × 12 C-250 × 90 × 11 1,234	206	380	
3.50	2,000 × 750 10 2,000 × 1,000 10	1-300 × 150 × 10 1,145	L-150 × 90 × 12 C-250 × 90 × 11 1,234	238	380	
4.00	2,000 × 1,000 20	1-300 × 150 × 10 1,310	L-150 × 90 × 12 C-250 × 90 × 11 1,234	254	380	
4.50	2,000 × 750 10 2,000 × 1,000 15	1-350 × 150 × 12 1,960	L-150 × 90 × 12 C-250 × 90 × 11 1,234	319	380	
5.00	2,000 × 1,000 25	1-350 × 150 × 12 2,180	L-150 × 90 × 12 C-250 × 90 × 11 1,234	341	380	
5.50	2,000 × 750 10 2,000 × 1,000 20	1-450 × 175 × 11 2,520	L-150 × 90 × 12 C-300 × 90 × 10 1,306	383	380	
6.00	2,000 × 1,000 30	1-450 × 175 × 13 3,450	L-150 × 90 × 12 C-300 × 90 × 10 1,306	476	380	

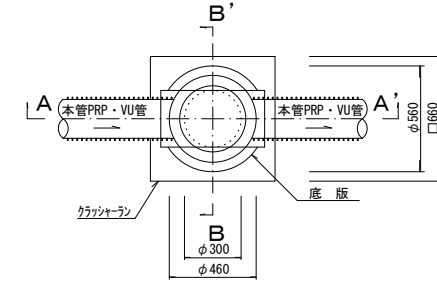
鋼材断面形状



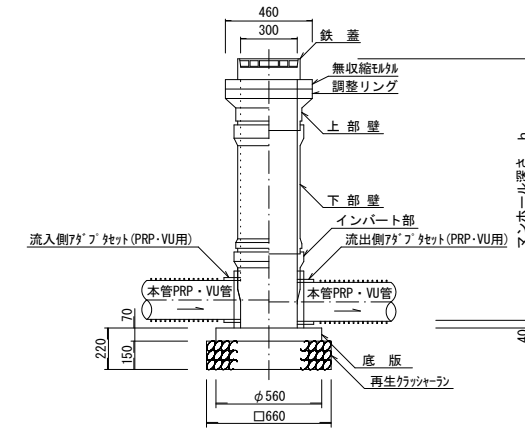
小口径マンホール標準図

S = 1 : 20

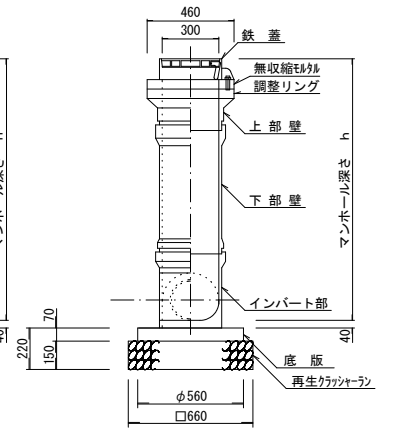
平面図



A - A'



B - B'



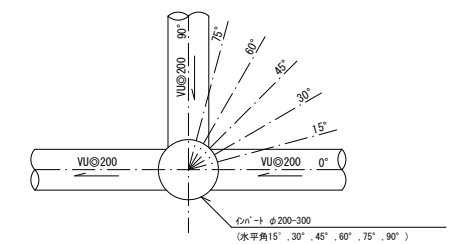
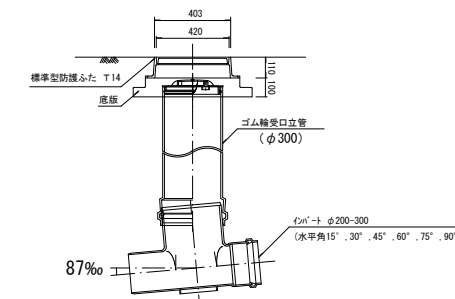
※ 勾配が30%~90%の時はVU-PRP変換継手を使いVU管を斜切りし設置すること。
 ※ 勾配が90%を超える場合は自在継手により設置すること。

小口径マンホール標準図

S = 1 : 20

塩ビマンホールφ300-200

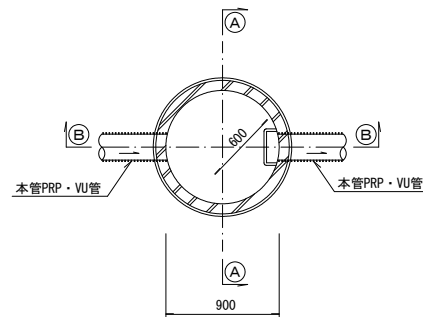
インバート部平面図



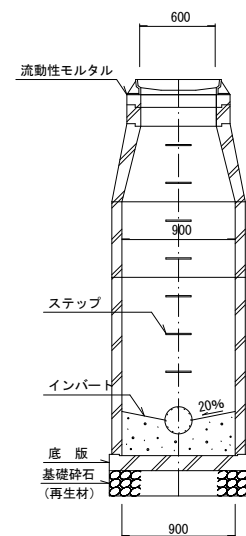
1号組立マンホール標準図

S = 1 : 20

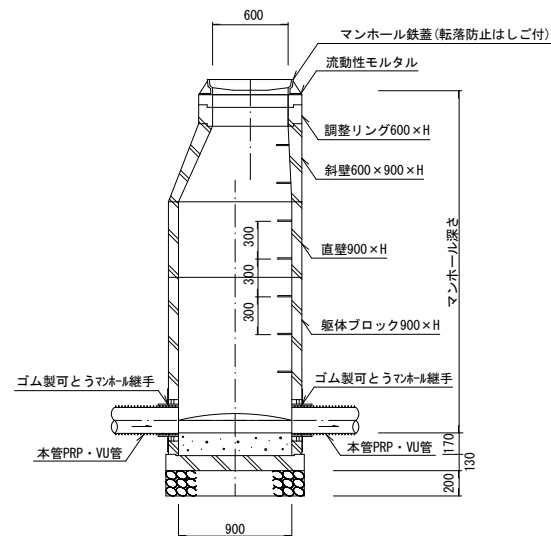
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図

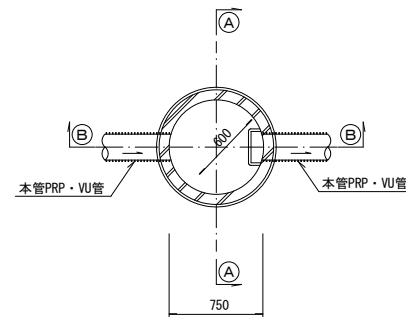


※ 蓋の開閉は、上流より下流へ開くものとする。
 ※ ステップは、下流に設置すること。
 ※ これによりがたい場合は、事前に監督員と協議すること。
 ※ マンホール深5mを超える場合は、転落防止はしごをつけること。

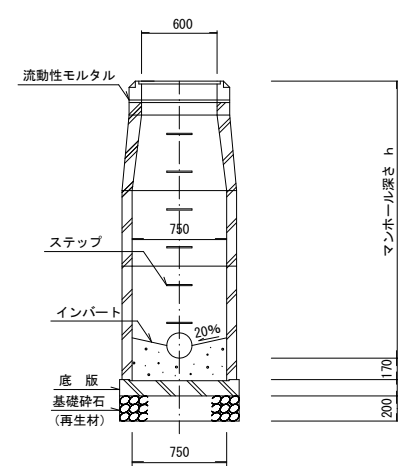
0号組立マンホール標準図

S = 1 : 20

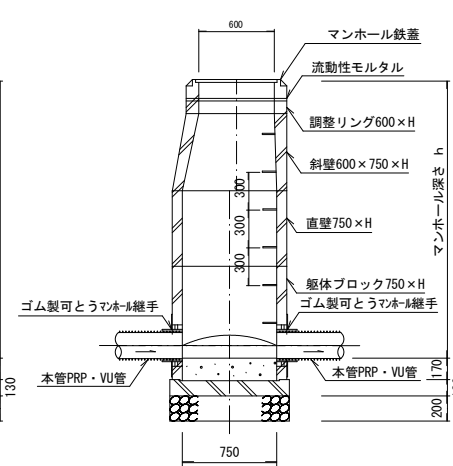
平面図



A-A 断面図



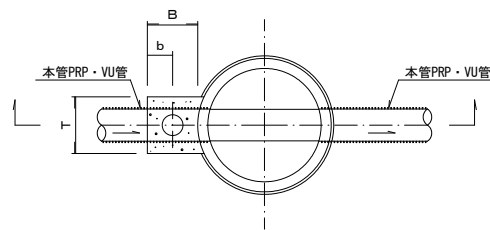
B-B 断面図



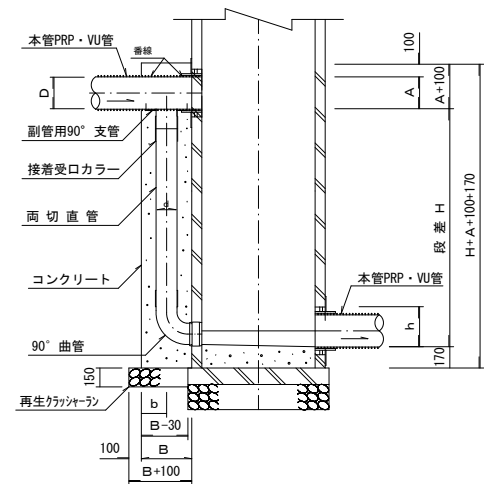
副管設置工構造図

S=1:30

平面図
(標準タイプ)



断面図



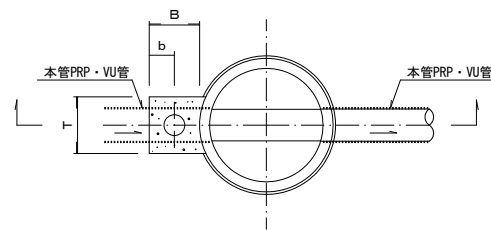
寸法表 1 (単位: mm)

副管径 d	T	B	b	h
150	400	400	200	295
200	450	450	250	346
250	500	500	275	400

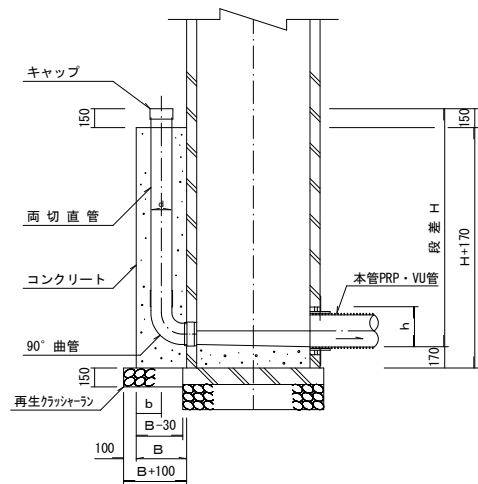
寸法表 2 (単位: mm)

本管径 D	副管径 d	A	コンクリート高さ	備考	
標準規格化ビニル管	VU@200	150	208	H+208+100+170	
	VU@250	200	258	H+258+100+170	
	VU@300	200	309	H+309+100+170	
	VU@350	200	360	H+360+100+170	
標準規格化ポリプロピレン管	PRP@200	150	203	H+203+100+170	
	PRP@250	200	253	H+253+100+170	
	PRP@300	200	303	H+303+100+170	
	PRP@350	200	353	H+353+100+170	

平面図
(将来タイプ)



断面図



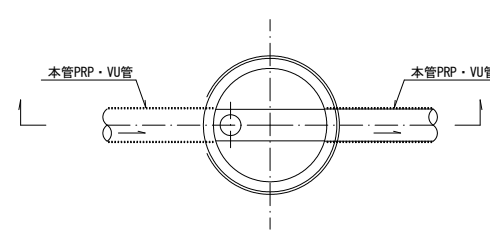
寸法表 1 (単位: mm)

副管径 d	T	B	b	h
150	400	400	200	295
200	450	450	250	346
250	500	500	275	400

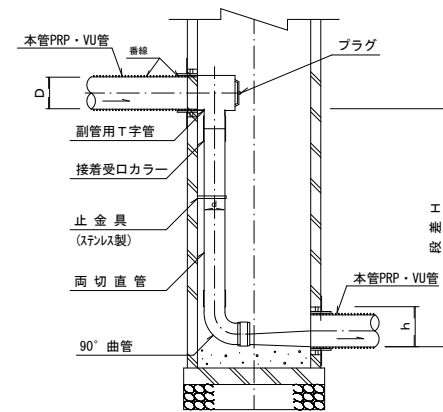
寸法表 2 (単位: mm)

本管径 D	副管径 d	コンクリート高さ	備考
標準規格化ビニル管	VU@200	150	H+170-150
	VU@250	200	
	VU@300	200	
	VU@350	200	
標準規格化ポリプロピレン管	PRP@200	150	H+170-150
	PRP@250	200	
	PRP@300	200	
	PRP@350	200	

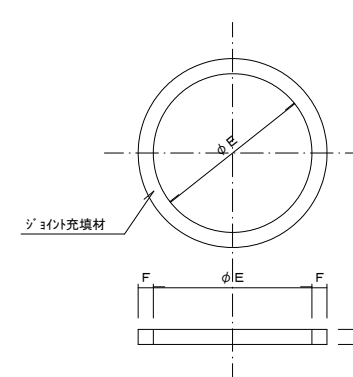
平面図
(内副管タイプ)



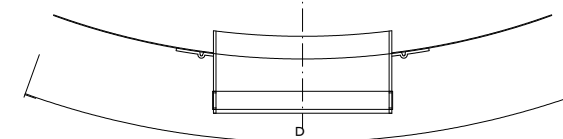
断面図



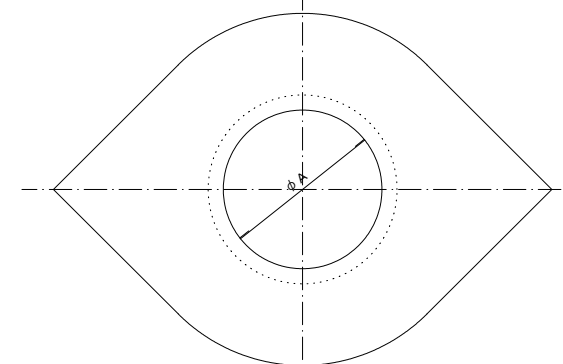
正面図



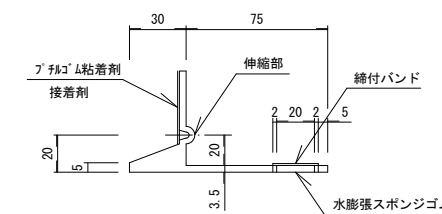
平面図



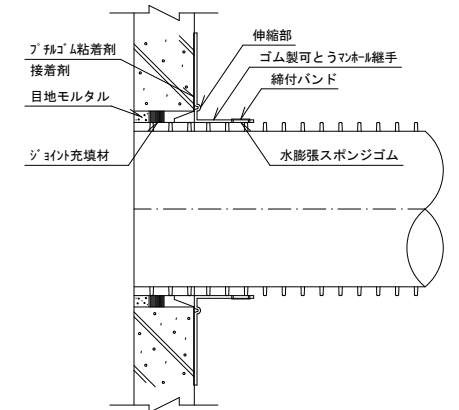
正面図



詳細図



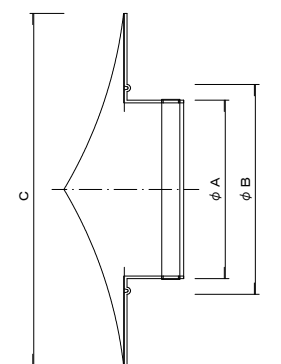
断面図



寸法表 1 (単位: mm)

管径 φE	F	G
φ100	110	17
φ150	160	17
φ200	210	20
φ250	260	17
φ300	310	20

断面図



寸法表 2 (単位: mm)

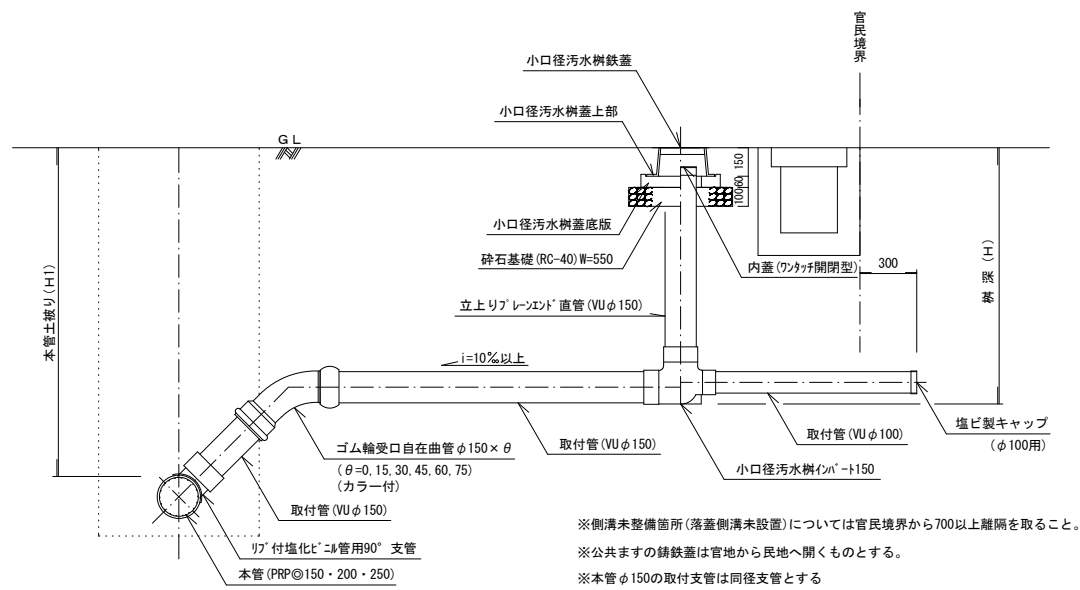
管径	φA	φB	C	D
φ100	117	164	264	380
φ150	168	215	395	560
φ200	219	266	466	660
φ250	270	317	517	700
φ300	321	368	578	800

取付管標準布設図

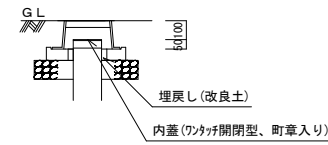
S = 1 : 20

側面図

那珂川市道部

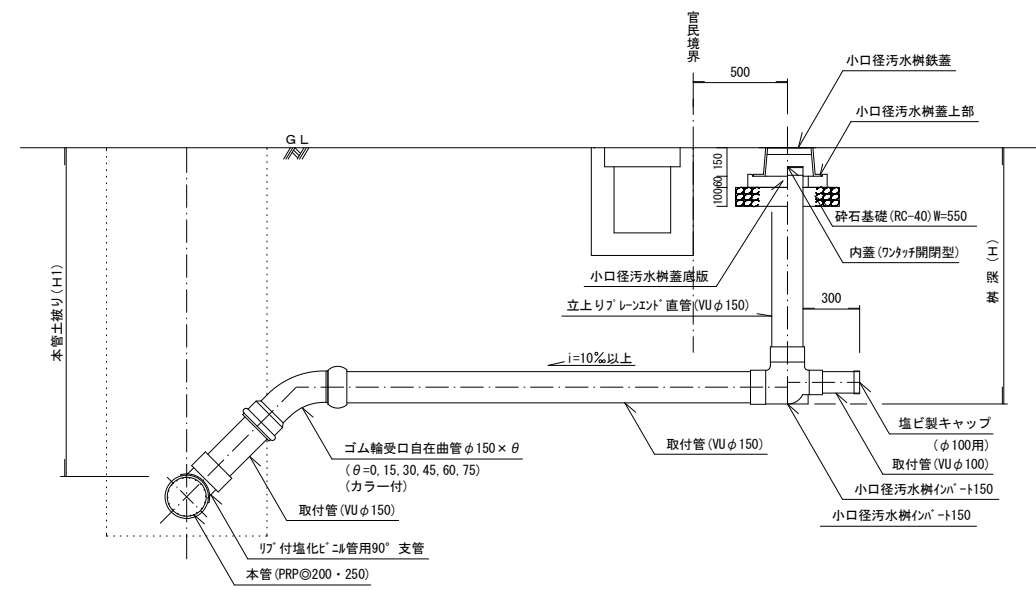


※側溝未整備箇所(落蓋側溝未設置)については官民境界から700以上離隔をとること。
 ※公共ますの鉄蓋は官地から民地へ開くものとする。
 ※本管φ150の取付支管は同径支管とする

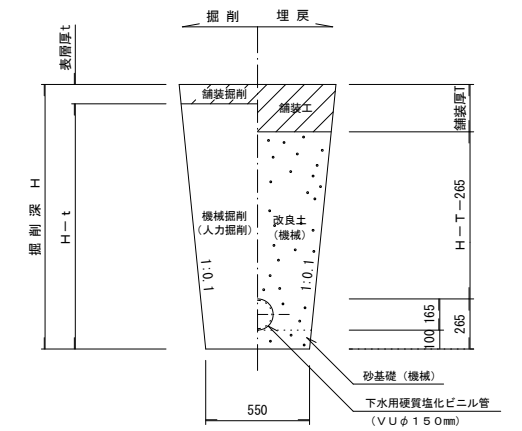


※立上管はGL-100mmとし内部の埋戻しは改良土で内蓋から50mm下がりとする。

国道部

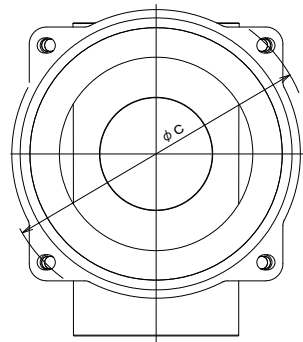


断面図

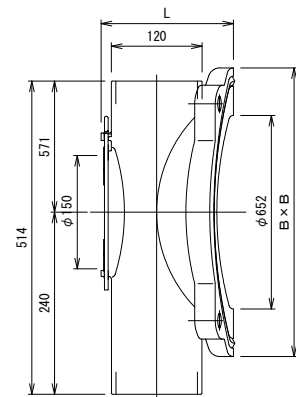


スリム内副管用マンホール継手 S=1:5

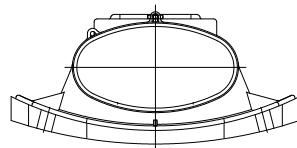
正面図



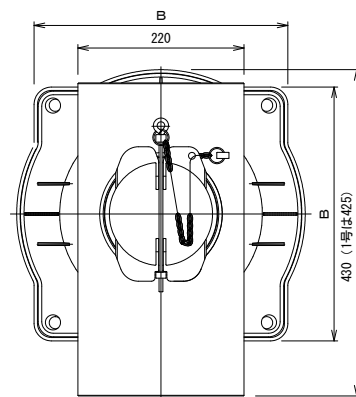
断面図



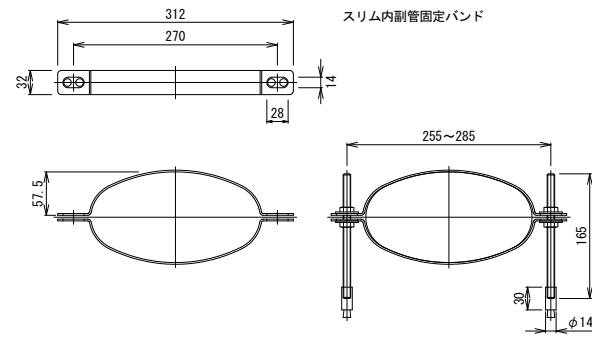
平面図



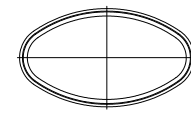
正面図



種類	サイズ	B	C	L	重量 (g)
1号	200×150	326	407	163	2723
2号		333	411	176	4224
3号		333	411	176	4448
0号		333	412	184	4238
R300楕円		333	421	199	5052
平面		333	411	176	5230

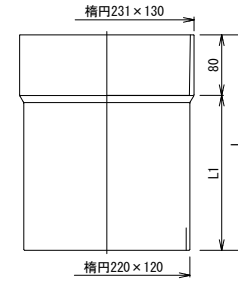


スリム内副管マンホール継手立て管 S=1:5

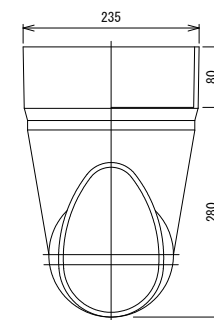
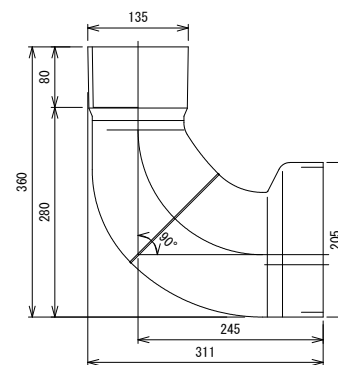
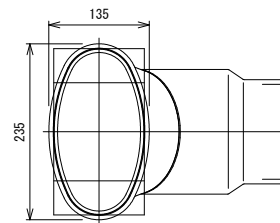


[単位: mm]

種類	全長 (L)	有効長さ (L1)	備考
500Z	580	500	
1000Z	1080	1000	
2000Z	2080	2000	



スリム内副管継手用エルボ S=1:5



スリム内副管変換継手 S=1:5

